



CHAPTER 11

プリロードされたスクリプト

プリロードされたスクリプトは、Cisco Unified Communications Manager (Unified CM) 基本インストールの一部として提供される Lua スクリプトです。プリロードされたスクリプトは、Unified CM Release 8.6 以降のリリースにアップグレード（またはインストール）すると自動的に使用できます。これらのスクリプトに、通常、特定の機能に使用でき、分かりやすい命名規則で名前付けされた過透性および正規化関連の Lua コードがあります。

管理者は、[SIP トランク正規化スクリプト (SIP Trunk Normalization Script)] ドロップダウンメニューでプリロードされたスクリプトを選択できます。プリロードされたスクリプトへの追加的な過透性または正規化関連の変更を追加するには、プリロードされたスクリプトの内容をコピーし、新しいスクリプトを、コピーされた内容と追加の必要な変更で作成します。

次のプリロードされるスクリプトが Unified CM Release 9.0 以降のリリースで提供されます。

- **Refer-passthrough** : SIP トランクである場合、コールアークの相手側への着信ダイアログ内参照 REFER (Replaces なし) メッセージを受け渡すために使用されます。Lua スクリプトでは、着信 REFER メッセージから Refer-To および Referred-By ヘッダーをコピーし、過透性オブジェクトに保存します。
- **HCS-PCV-PAI-passthrough** : このスクリプトは次の目的に使用されます。
 - INVITE、UPDATE、および 200 OK の P-Charging-Vector ヘッダーの受け渡し
 - P-Charging-Vector の 200 OK への追加時に設定された term-ioi を使用
 - INVITE の P-Asserted-Identity ヘッダーの受け渡し
- **vcs-interop** : Unified CM と VCS の間に適切な相互運用性を可能にするために使用します。このスクリプトは、2つのノードがどのようにから SRTP をサポートするかの違いを特に扱い、From、Remote-Party-Id および P-Asserted-Id ヘッダーの URI の右側を変更して、Unified CM の IP アドレスの代わりに設定されたトップレベルドメインを使用します。
- **転送カウンタ** : コールの転送および即転送シナリオの転送カウンタパラメータを処理するために使用されます。このスクリプトは、着信および発信トランクの両方に接続する必要があります。クラスター内でコールの即転送またはコールの転送がある場合、このスクリプトは発信 diversion ヘッダーのカウンタパラメータを調整します。クラスター内でコール転送が存在しない場合、このスクリプトは着信側から発信側にカウンタパラメータを受け渡すだけです。転送カウンタスクリプトの詳細については、「[転送カウンタ](#)」(P.10-7) を参照してください。

